

総務文教委員会

本委員会で審査した案件は、議案8件であり、議案第15号は修正議決、議案第15号以外は原案どおり可決等しました。

◎総社市防災会議条例及び総社市災害対策本部条例の一部改正（議案第13号）

災害対策基本法の改正により、防災会議の所掌事務、構成委員等の見直しが行われたことに伴うものです。

問 改正前の防災会議の所掌事務には情報収集の規定があったが、改正後はその規定がないのはなぜか。

答 法改正の趣旨に沿って、防災会議は重要事項の審議という部分を明確にし、災害対策本部で現場の情報収集を行うよう所掌事務を整理した。

◎総社市総社吉備路文化館条例の制定（議案第15号）

旧県立吉備路郷土館の譲渡を受けて改修する総社吉備路文化館の設置条例です。

問 市当局は、吉備路郷土館譲渡の際、市内に展示施設が少なく困っているのでは展示施設を是非作りたいと説明した。しかし、この条例案では、同じ人が1か月使用できるように規定している。市民ギャラリーは6日間、市民会館や体育施設も1週間以上とはしていないが、支障がない。総社吉備路文化館も1週間とし、事情により延長可能にしてあげばよいのではないか。

答 企画展の開催を想定し、使用期間を1か月としている。名称は堅苦しい。市民が親しめる名称にはならないか。



総社吉備路文化館として生まれ変わる旧吉備路郷土館

問 総社吉備路文化館という名称は堅苦しい。市民が親しめる名称にはならないか。

答 吉備路郷土館として親しまれていた施設である。吉備路風土記の丘にあり、文化施設であるから総社吉備路文化館としたが、多くの方に親しまれる愛称の募集も考えたい。

◎以上のような質疑、答弁がなされた後、委員から「文化館の使用期間を1か月から7日にする」旨の修正案が提出され、全員一致で修正議決しました。

【平成25年度一般会計予算（議案第38号）審査特別委員会総務文教分科会】

問 市民会館のホールの空調は、文化活動の際、観客が快適に過ごすためのものだ。1時間前に予熱を入れて、冷え切った建物が暖まるのか。文化振興を考えるならば、使っていたかどうかという精神で研究すべきではないか。

答 使用の1時間前に予熱している。ホールは広いので、適正温度になるよう考える。

問 学校の耐震化をプロポーザル方式で行うとのことだが、設計、施工管理を全て任すと、管理監督をする職員の専門知識が必要になるが、どう対応するのか。

答 これまでも、設計、施工管理は専門業者に委託するとともに、建設部の専門職員が施工管理に携わっている。建設部とも調整し、更なる責任ある管理監督体制で臨む。

問 財源が足りないため、地方交付税の不足分を臨時財政対策債で借り、後に交付税措置がなされるが、きちんとできているか。合併特例債も、基準どおり交付税措置がなされているか。また、交付税の算定に入っていないも、実際の交付額は少ないことはないか。

答 臨時財政対策債、合併特例債は、交付税を算定する上でそれぞれの償還額を基準と

おり計上しており、交付税に算入されている。臨時財政対策債は金融機関の起債の利率ではなく国の利率で計算されるが、それ以外は全額交付されていると認識している。

厚生委員会

本委員会で審査した案件は、議案17件であり、原案どおり可決、陳情1件は不採択としました。

◎平成24年度一般会計補正予算（第6号）（議案第3号）

《補正予算の主な内容》

- ・ 事業費の確定及び確定見込みに伴う補正
・ 住宅用太陽光発電システム設置補助金1千万円の増額

問 住宅用太陽光発電システム設置補助金には、かなりの税金が投入されている。せめて1年間は、月に1度程度はデータを回収して追跡調査をすべきではないか。

答 前向きに検討したい。
◎総社市市民提案型事業審議

会条例の制定（議案第17号）

市民活動団体等が企画立案した事業を審査・評価し、選ばれた事業に補助金を交付する市民提案型事業制度が創設されました。その審査や評価を行うため、審議会を設置しようとするものです。

問 補助金を毎年度交付している団体も市民提案型事業に参加してもらい、自立していくように進めてはどうか。

答 各団体の基本的な活動を越える部分は、市民提案型事業の対象となる。

◎総社市廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例の一部改正（議案第18号）

平成25年度から、市指定のごみ袋に10リットル袋を加えることなどを改正しています。

◎総社市医療費適正化推進委員会設置条例の制定（議案第21号）

市民の健康づくりと生活の質の維持向上のため、年々増加する医療費の適正化に向け

て、保健・医療・福祉・介護・教育等の関係者が連携する委員会を設置するものです。

問 受診を抑制すると重篤化することもある。何をもちて適正受診と言うのか。

答 医療費削減のみを考えているのではない。健康づくりや介護予防も考えていきたい。

◎平成25年度国民健康保険特別会計予算（議案第39号）

別会計予算（議案第39号）
問 国民健康保険税の未納者に対する新たな収納対策は考えているのか。

答 お知らせの回数を増やし、新しいパンフレットも作成した。納税が滞り始めたばかりの未納者へは、電話連絡による催告に力を入れている。

◎平成25年度介護保険特別会計予算（議案第41号）

地域包括支援センター業務を委託して1年が経過するが、地域によって差はないか。

答 レベルの高い平準化を保つために、支援センター職員

の研修会を毎月開催している。

◎陳情第2号「年金2.5%の削減中止を求める意見書提出を求める陳情」

「物価スライド制は以前から決められており、陳情の趣旨は受け入れられない」、あるいは、「切実な生活を反映した声だ。願いに沿って負託に応えるべき」など、賛否両方の意見があり、採決の結果、不採択と決定しました。

【平成25年度一般会計予算（議案第38号）審査特別委員会厚生分科会】

問 生活保護扶助費が減少している理由は何か。

答 ケースワーカーや自立支援相談員等の支援で自立に向け努力しており、本市の生活保護世帯はほとんど増加していない。就労や年金受給で、廃止が60世帯あった。

問 井原鉄道のワンコインデは超満員である。真備や井原駅前はイベントが盛んだが、総社は終点でありながら甘酒一杯程度しかない。もっとア